

# ナツアカネ

*Sympetrum darwinianum*

トンボ科



ナツアカネ

## 名前の由来

「夏アカネ」で夏に出るアカネトンボの意。出現時期が夏に限定されているわけではない(→興味深い話の項参照)。「アカネ」は茜色(茜草の根で染めた赤色)に由来し、いわゆる赤トンボ全般を「アカネ」と呼ぶ。赤トンボという種類は存在しない。漢字名: 夏茜

## 特定種

北海道レッドデータブック: 希少種

## 形態的特徴

体長37~42mm。翅は無色透明。オスは成熟すると腹部から胸部、頭部まで赤くなる。メスはオスほど赤くはならない。

類似種と見分け方: アキアカネ、ヒメリスアカネ、マユタテアカネ。胸部の模様、交尾器の形などで区別できる。

## 生息環境・分布

平地から低山地の池沼、水田に生息している。

分布: 中国中部、台湾、朝鮮半島に分布。国内分布は、奄美大島以北。北海道内では全域だが、東北部では稀。

十勝地方では、平地から低山地の池沼に生息しているが、少ない。帯広市、音更町、新得町、幕別町などで確認されている。

## 食性・他生物との関わり

幼虫時期はユスリカやイトミミズ、魚の稚魚、オタマジャクシなどの水中の小動物。成虫になるとカやハエなどの小昆虫類やクモ類を捕食する。

幼虫は魚類やカエルなどに捕食され、成虫はムシヒキアブなどの肉食性昆虫やクモ類、大型のトンボ類、チゴハサブサなど小型の猛禽類やタンチョウなどの鳥類に捕食される。

## 繁殖生態・寿命

卵で越冬し、成虫は7月上旬から10月中旬に見られる。産卵は連結したまま抽水植物のある水域の空中で、卵をばら

まくようにして行われる。

寿命: 幼虫期間約3ヶ月、成虫期間3~4ヶ月。

## 興味深い話

■「夏アカネ」の名は、元々夏に見られる黄色っぽい未熟個体を指していたが、その後、本種がナツアカネという和名となった。出現時期が夏に限定されているわけではなく、出現時期や形態に由来する名前にはなっていない。

■アキアカネのように羽化後に長距離の移動はしないが、

未熟個体は水域を離れて樹林や草原で過ごす。

■赤く色づいたナツアカネは解熱剤に効くという。

■十勝地方のアイヌ語で、トンボ類を「ハンクカチュイ」という。

## 配慮事項

他のトンボ類と同様に、池や沼の中に水草が生えていることが大事。羽化するとき水草に登って羽化する。池や沼

の周辺に樹木や草原があることも大事。羽化後の成虫の採餌場と休息場となる。

## 生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
卵期・幼虫期												
成虫期												

## 参考文献

「蝦夷の蜻蛉」広瀬良宏・伊藤智 自費出版 1993  
「北海道のトンボ」二橋愛次郎 エコネットワーク 2002  
「日本産トンボ幼虫・成虫検索図説」石田昇三・石田勝義・杉村光俊 東海大学出版会 1988  
「講談社カラー科学大図鑑 トンボ」枝重夫 講談社 1982

「日本産トンボ大図鑑」浜田康・井上清 講談社 1985  
「トンボのすべて」井上清・谷幸三 トンボ出版 1999  
「カラー日本のトンボ」石田昇三・浜田康 山と溪谷社 1973  
「コタン生物記Ⅲ 野鳥・水鳥・昆虫篇」更科源蔵・更科光、法政大学出版局 1977

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 花

(外来種) 花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類  
ワシ・タカ